

ツキノワグマを知って、事故を防ごう！

昨年度、鳥取県内において、ツキノワグマと思われる野生動物による人身事故が4件発生しました。人身事故はすべて県東部地区で発生したのですが、日野郡内においても、近年、ツキノワグマの目撃情報が寄せられています。秋は、クマが冬眠に備えて、食べ物を求めて活発に行動する季節となります。十分に注意して、事故を防ぎましょう。

ツキノワグマはこんな動物

クマと聞くと、人の2倍も3倍もあるような大きな動物だと思いがちですが、日野郡に出没しているツキノワグマは、成獣でも人と同じくらいです。



【全長】

オス 1.2～1.5m

メス 1.1～1.3m

幼獣 0.6～1.0m

- 胸にある白い三日月形の模様が特徴的
- 繁殖能力は低く、絶滅の恐れがある
- 朝や夕方に活発に行動する
- 犬並みの優れた嗅覚 ●木に登れる強い腕力
- 高い運動能力(100m6秒台の走力) ●高い学習能力

〈ツキノワグマの1年〉

12月		
1月		
2月	冬眠	出産
3月		
4月		
5月		
6月	繁殖	
7月		子別れ
8月		
9月		
10月	冬眠準備	
11月		

冬眠明けは空腹なのでエサを探して山中を移動。山菜採りの最中に遭遇する可能性があります。

繁殖期はオスグマの行動範囲が広がるので、様々な場所で遭遇する可能性があります。母親と別れてすぐの子グマは好奇心が強いので注意が必要です。

脂肪を蓄える時期。ドングリ、栗、山ブドウなどを主に食べます。柿などを求めて人里近くに出現することがあります。

！ 人身事故に遭わないために

クマは、警戒心が強く、普段は人を避けて行動します。しかし、驚いた時などは攻撃に出ることがあります。



日野郡内で撮影された親子グマ

まずは、遭遇しないようにすることが重要！

- 朝・夕の薄暗い時間の行動を避ける。
- 複数人で行動する。
- ラジオや鈴など音を出して、人の存在を知らせながら行動する。

もし遭遇したら、クマを興奮させない！

- 落ち着いて、大きな声を出さず、目を離さず、ゆっくり後退する。
- イノシシやシカのわなにかかっているクマを見つけた時は、近づかず、通報する。

もし攻撃してきたら…

- 攻撃を避けられない場合は素早く防御姿勢を取り、頭・首を守る。



！ クマを引き寄せないことも大切

クマはエサを見つけると、大量に、単一的に、無くなるまで食べ続けます。そのため、食べ物があることを覚えられると、かなり執着するので、引き寄せないようにすることが重要です！

誘引物の除去

- 住居の周りや畑に生ごみや収穫しなかった作物を放置しない。
- 柿や栗などの実は早く収穫する。また、収穫しない果樹は伐採する。
- 住居周辺のハチの巣は取り除く。
- 山野にある墓地の供え物は持ち帰る。
- ペットや家畜のエサの管理は徹底する。

クマの侵入防止

- 農作物など守る対象を電気柵で囲う。

クマを目撃したら、すぐにご連絡ください。

【通報先】 日南町役場 農林課 0859-82-1114
 日野町役場 産業振興課 0859-72-2101
 江府町役場 農林産業課 0859-75-6610

〒 日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399